

作成日2026 年 7 月 3 日
(最終更新日20 年 月 日)

受付番号： I2026-154

課題名：肝切除（開腹・腹腔鏡下・ロボット支援下）における病院ベース標準化コスト算出基盤の構築及び診療報酬との乖離に関する検討

(Development and Multicenter Validation of a Standardized Hospital-Based Costing Platform for Robotic Liver Resection in Japan)

1. 研究の対象

2022 年 4 月から 2026 年 3 月までの間に、東京科学大学病院で開腹肝切除（OLR）、腹腔鏡下肝切除（LLR）、又はロボット支援下肝切除（RLR）を施行された方

2. 研究期間

2026 年 7 月 7 日（研究実施許可日）～2028 年 8 月 31 日

3. 試料・情報の利用及び提供を開始する予定日

当院で試料・情報の利用を開始する予定日及び外部への提供を開始する予定日は以下の通りです。

利用開始予定日： 2026 年 7 月 7 日（研究実施許可日）

提供開始予定日 該当なし

4. 研究目的

肝切除（開腹、腹腔鏡下、ロボット支援下）にかかる医療費は、これまで各施設独自の会計慣行に基づいて算出されることが多く、施設間で比較可能な標準化された算出方法が確立されていませんでした。特にロボット支援肝切除は、2022 年 4 月の診療報酬改定により保険適用となりましたが、ロボット機器の減価償却費や保守費など、腹腔鏡下手術と比較して病院が負担する費用が大きい一方、診療報酬上は腹腔鏡下手術とほぼ同等の評価にとどまっており、病院経営への影響が懸念されています。本研究では、当院で過去に肝切除を受けた患者さんの診療記録及び会計データをもとに、手術原価・入院原価等を標準化された方法で算出し、これを診療報酬額と比較することで、現行の診療報酬が実際の病院コストをどの程度反映しているかを明らかにすることを目的としています。これにより、今後の多施設共同研究における標準化コスト算出基盤の構築、及び持続可能な診療報酬のあり方に関する検討につなげることを目指しています。

5. 研究方法

本研究では、すでに終了している通常の診療・治療の記録（診療録及び病院会計データ）を用いて、研究用のデータを収集します。患者さんに新たに来院していただく必要はなく、追加の検査・観察・処置は一切ありません。

診療録及び会計データから情報を抽出後、個人が特定できないよう匿名化处理を行い、専用のパスワード保護されたPCにてデータを管理します。標準化された方法（微視的原価計算）を用いて手術原価・入院原価等を算出し、統計ソフトを用いて診療報酬額との差異（乖離）を検討します。

6. 研究に用いる試料・情報の種類

【通常診療で行った内容】

研究で用いる情報は、すべて過去の通常診療の中で取得されたものです。以下の項目を診療録から確認し、匿名化したうえで研究に使用します。

年齢、性別などの基本情報

手術術式（開腹・腹腔鏡下・ロボット支援下）、切除範囲、手術時間、出血量等の手術関連情報
原疾患（診断名）、腫瘍の大きさ・個数、手術難易度に関する情報（IWATE 難易度スコア等）

術後合併症（Clavien-Dindo 分類）、ICU・病棟在院日数、再入院・再手術・救急受診等の情報

手術に用いた医療材料・機器・薬剤等の使用量及び費用に関する会計データ（手術原価・入院原価の算出に必要な項目）

診療報酬額（診断群分類包括評価（DPC）に基づく入院報酬、出来高部分（手術料等）を含む）

7. 外部への試料・情報の提供

該当なし

8. 研究組織

本学単独研究

9. 利益相反（企業等との利害関係）について

利益相反とは、研究者が企業など、自分の所属する機関以外から研究資金等を提供してもらうことによって、研究結果が特定の企業にとって都合のよいものになっているのではないか・研究結果の公表が公正に行われえないのではないかなどの疑問が第三者から見て生じかねない状態のことを指します。本研究はIntuitive社からの研究費を用いて行われます。本研究の実施にあたっては、本学利益相反マネジメント委員会に対して研究者の利益相反状況に関する申告を行い、同委員会による確認を受けています。この研究の結果により特許権等が生じた場合は、その帰属先は研究機関及び研究者等になります。あなたには帰属しません。

10. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出ください。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としますので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

当院における照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

担当者の所属・氏名：東京科学大学 肝胆膵外科 浅野大輔
連絡先：asano.d.42d2@m.isct.ac.jp

当院の研究責任者：東京科学大学 肝胆膵外科 伴大輔
連絡先：ban.d.11a0@m.isct.ac.jp

11. 苦情窓口

東京科学大学 研究推進部研究基盤推進課 生命倫理グループ
03-5803-4547（対応可能時間帯：平日9:00～17:00）